

第373回（令和7年12月）定例会
第2回各会派政務調査会長会 開催結果

1 日時

令和7年12月9日（火）11時45分から12時05分まで

2 場所

3号館6階 第2委員会室

3 出席者

吉 岡 たけし	自由民主党政務調査会長（座長）
橋 秀太郎	自由民主党政務調査副会長
飯 島 義 雄	維新の会政務調査会長（副座長）
小 泉 弘 喜	公明党政務調査会長
迎 山 志 保	ひょうご県民連合政務調査会長

(オブザーバー)

白 井 かずや	自由民主党政務調査副会長
脇 田 のりかず	維新の会政務調査副会長
里 見 孝 枝	公明党政務調査副会長
小 西 ひろのり	ひょうご県民連合政務調査副会長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

(1)会派提案意見書案に対する態度表明・整理

各会派から各意見書案に対する態度が別添のとおり表明された。
次に、座長から各会派に意見を求めた。

ア 意見書案3、6について

○ 小泉 公明党政務調査会長

統合にあたり我が会派として、意見書案6の記3のとおり緊急措置の実施を強く主張する立場であることを申し添える。

○ 飯島 維新の会政務調査会長

意見書案6の記3にある緊急措置というのは、公立病院に限って期間を決めて補助金を出すといったイメージなのか。また、繰出基準との違いはある

のか。

○ 小泉 公明党政務調査会長

当面の経営上の危機を回避するため、物価高騰等を考慮し、期間等は決めていく形になるかと思う。また、幅広い緊急措置を求めるため、操出基準だけに限定していない。

イ 意見書案7、8について

○ 迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

意見書7について、司法の独立性等、論点がいくつかあるのではといった指摘を頂いた。そのあたりの記載を調整すれば、意見の統一はできる可能性があるのか。

○ 橋 自由民主党政務調査副会長

現在、国において司法制度との間で議論されているところである。最高裁で確定判決がでたものを覆すような制度の受け入れは、国の司法制度を脅かす問題になるため、早期の批准を強く求める本意見書には賛同しかねる。

○ 迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

意見書8について、自民党・維新の会ともに文意については賛同頂いていることが伺えた。既に多文化共生のための社会基盤は整えられているが、その実行性等、問題が色々積み残されていると思われる。多文化共生の理念を進めるという意味であれば、賛同頂けるのか再度検討願いたい。

○ 橋 自由民主党政務調査副会長

多文化共生、外国人の方々を尊重しなければならないことには賛同できるが、既に国・地方自治体において相応の取組が実施されているにも関わらず意見書全体としてその取組が何もされていないような表現になっているため賛同しかねる。

○ 飯島 維新の会政務調査会長

意見書7、8について自民党の意見に賛同する。

○ 迎山 ひょうご県民連合政務調査会長

意見書7において、国の方で議論されていることを理由に挙げられたが、意見書は、国で議論している最中に地方としての意見を申し述べるもので、過去にも国で議論されているものに対し意見書を出していることから、その一点の理由で、もし反対されたということであれば再検討頂きたい。

意見書8の多文化共生について、国も地方もしっかり認識し、施策を進めているとのことだが、現状、外国人を取り巻く様々な問題等もある中で、共生という理念を更に浸透させていくことを求める意見を地方から出すということは、まったくもって無意味なことではないという認識をお伝えしておく。

(2) 意見書案の整理

(1)を踏まえ、座長において次のとおり整理した。

① 全会派一致の賛同が得られた意見書案

意2 持続可能で質の高い福祉サービス提供体制の確立と、地域共生社会の実現に向けた抜本的政策の推進を求める意見書

意5 地方税財源の充実確保を求める意見書

② 統合を含め、全会派一致の賛同に向けて座長調整案を示す意見書案

意1 JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書

意3 公立病院等の厳しい経営状況に対する支援策を求める意見書

意4 高齢者等のデジタルデバイド対策の充実強化を求める意見書

意6 危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書

③ 全会派一致の賛同が得られなかった意見書案

意7 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

意8 多文化共生のための社会基盤整備を求める意見書

その後、座長から調整案提示のスケジュールを示し、各会派において速やかに検討するよう依頼した。

(3) 日程確認

第3回会議を12月11日(木)11時から開催することを確認した。